



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年8月21日

第79号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

中学校登校で進学への不安を緩和して意欲を高める ～第二中学校区 第一中学校区～

7月に入ってから各中学校区で小学6年生の中学校登校が行われました。中学生の授業の様子を参観したり、中学校の先生の授業を受けたり、給食を食べたり等、各中学校区でこれまでの実践をもとに特色ある取組を進めています。これらの取組は、子どもたちの中1ギャップの緩和や進学への意欲向上、自己肯定感の醸成等の様々な効果があり、子どもたちにとって貴重な体験となっています。

①第二中学校区(第二小・第二中)

7月9日(木)に第二中学校区で、5月に続き今年度2回目の中学校登校がありました。今回は、朝の登校から給食の時間までを丸ごと中学校の校舎で過ごし、一歩進んだ中学校生活を体験しました。

1時間目は、中学校の教室を借りて小学校の担任による授業を行いました。子どもたちは、少し大きな机やいつもと違う雰囲気には最初は緊張気味でしたが、授業が始まるといつもの集中力を発揮していました。2、3時間目は、学級ごとに分かれ、中学校の先生による専門的な授業を体験しました。4時間目は、中学校の音楽の先生から、裏声の使い方を教わり、最後には中学校の「校歌」に挑戦しました。給食は、中学生と同じスケジュールでの準備と片付けに挑戦しました。

半日を中学校で過ごしたことで、子どもたちは「中学校って楽しそう!」「早く進学したいな」等と、来春への期待を大きく膨らませていました。

【児童の感想】

- 中学校の理科室には見たことがない実験器具がたくさんあってワクワクした!
- 技術の授業で専門的なお話が聞けて、もっと勉強してみたいと思いました。
- 中学校の体育は緊張したけど、いつも以上に体を動かして気持ちよかったです!
- 音楽の授業では、腹式呼吸や歌う姿勢が分かった。中学校の校歌を覚えて、歌えるようになりたいです。
- 配膳や片付けの時間が小学校より短くて苦労したけれど、みんなで協力して食べ終わることができて達成感がありました!



体育科の体験授業



技術科の体験授業



理科の体験授業



音楽科の体験授業



中学校での給食

②第一中学校区(第一小・上江別小・第一中)

第一中学校区は、7月15日(水)に今年度1回目の中学校登校を実施しました。内容は、校内見学の他、中学校の先生による中学校の学習や生活等についての講話(キャリア教育)、理科、数学科の体験授業、特別支援学級での小中合同授業でした。また、昨年度までは上江別小児童のみが中学校で給食喫食を行っていましたが、今年度から第一小の児童も給食を喫食しました。いつもと違う環境で中学校の給食を食べる経験は、子どもたちにとって楽しいものになったことと思います。

中学校の学習や生活に関する講話では、初めに中学校の校長先生から歓迎の挨拶があり、小学校の運動会を参観した際にリーダーとして活躍する6年生の姿が素晴らしかったことや、小学校と中学校の違いについて体験授業を通して学んでほしいこと等についてのお話がありました。

また、講話では、2名の先生のお話があり、中学校の1年間の流れや主な行事、1日の生活、家庭学習と中間・期末テストのこと、校則や生徒会、部活動等について、映像や資料をもとに分かりやすく説明がされました。子どもたちからいくつか質問があり、入学後の学習や生活を想像しながらしっかりと話を聞いていたことがわかりました。

理科の体験授業は、2名の中学校理科の先生が指導してくれました。学習課題は、『化学変化』と質量の関係を明らかにせよ!です。小学校では扱わない薬品を使った実験を行い、化学変化の不思議さや実験結果の大切さを学ぶことができました。

数学科の体験授業は、「どんな数になるか考えよう。」という学習課題で授業が進められました。トランプカードを用いてババ抜き の要領でカードを引いていき、最後に数の合計を計算していきます。子どもたちが楽しみながら、正の数・負の数に慣れていくことをねらった学習活動でした。

特別支援のあおば学級での合同授業は、「縫工(ほうこう)」の学習でした。細かい部品等をもとにかわいいマスコットをつくっていく中で、小学6年生の子どもたちは中学校の先生や先輩との交流を行っていました。

実施後の子どもたちの振り返りを見ると、今回の中学校登校の取組は、「時間を意識して行動する。」「3分前行動をする。」「小学校の委員会活動がんばる。」等、小学校生活の残り数ヶ月をどう過ごすべきかについても子どもたちに意識させることができたようです。



中学校の校長先生の話



中学校の先生による講話



数学科の体験授業(上江別小)



理科の体験授業(第一小)



あおば学級の合同授業



中学校で食べる給食

【子どもたちの感想】 ※一部抜粋しています。

- 今日、中学校登校体験に行って、最初は「新しい環境についていけるかな」「勉強が難しくなるのかな」と、不安や心配な気持ちでいっぱいでした。でも、実際に体験してみて、その不安が「楽しみ」や「ワクワク」へと変わりました。
- 中学生になるまでに、私は2つのことをがんばりたいです。1つめは、時間を意識して「3分前行動」を心がけ、自分でパッと動けるようになることです。2つめは、毎日家でしっかりと予習・復習をする習慣をつけ、1日1時間以上の家庭学習に取り組むことです。



中学校登校で進学への不安を緩和して意欲を高める ～ 大麻中学校区 中央中学校区 ～

前号（第79号）に引き続き、大麻中学校区と中央中学校区で実施された小学6年生対象の中学校登校の様子を紹介します。この時期は、中学2年生の宿泊学習等があるため、規模の大きな中学校では、生徒がいない教室等を活用して中学校登校を実施している中学校区がいくつかあります。

①大麻中学校区(大麻小・大麻西小・文京台小・大麻中)-----

大麻中学校区では、7月15日（水）に大麻小、16日（木）に大麻西小、17日（金）に文京台小の6年生が中学校登校を行いました。尚、文京台小は、学校間の距離があるため、事前にバスを手配して移動のための時間を短縮し、他の2校と同じように体験できるようにしています。

当日の内容は、体育科の体験授業と校内見学です。体育科の授業では、初めに中学校方式の準備運動を中学1年生と一緒に行いました。次に、体育祭で取り組む長縄跳びに小学6年生と中学1年生がチームを組んで挑戦しました。最初は、上手く跳べないチームが多かったですが、中学生がみんなで合わせて跳ぶコツを教えてくれたり、かけ声で跳ぶタイミングを教えてくれたりするうちに、少しずつ跳べる回数が増えていきました。しだいにどのチームも声が大きく出るようになり、笑顔が増えていく等、みんなで達成感を味わい、先輩と後輩の交流も深まっていったようです。

校内見学では、シーンと静まりかえった学校内を歩き、特別教室の中に入ってみたり、引率の先生から説明を受けたりしました。6年生の子どもたちは、1年後の中学校生活を思い浮かべながら真剣な表情で見学をしていました。

大麻中学校区では、7月6日（月）に別日程で特別支援学級の中学校登校が行われています。3つの小学校の特別支援学級の5, 6年生の児童と先生方が中学校を訪問し、「3小1中」で合同学習を行いました。授業の内容は木工作業で、木材の長さを正確に「測る」、「切る」、「削る（やすり掛け）」等の作業を中学生と一緒に体験しました。どの作業も中学生の先輩が優しく支援してくれ、小学生も楽しく学習に参加することができました。



大麻小の中学校登校



大麻西小の中学校登校



文京台小の中学校登校



特別支援学級の合同学習

②中央中学校区(対雁小・中央小・中央中)-----

中央中学校区では、7月15日(水)に中央小、16日(木)に対雁小の6年生が中学校登校を行いました。

中央小の子どもたちは、オリエンテーションで中学校生活についてのお話を聴き、その後に体育科の授業や英語科、国語科の授業を受けました。対雁小の子どもたちは、体育科や技術科、数学科、家庭科の授業を受けました。特別支援学級の子どもたちは、中央小と対雁小合同で美術科や体育科の授業を受けました。

体育科の学習では、中央中伝統の準備運動「ライディーン体操」を教えてもらった後、腕立て伏せや腹筋運動等のコーディネーショントレーニングを行い、長縄跳びに挑戦しました。授業を通して、友達と一緒に記録に挑戦することの楽しさや中学生として自立していくことの大切さについて学びました。

英語科の学習では、「Do you like～」の会話から何に興味があるのかのクイズを解いていく活動を行いました。

国語科の学習では、身近にあるフェイクニュースについて資料をもとに調べたり、対話したりしながら思考を深めていく活動を体験しました。

技術科の学習では、「ロボットを思い通りに動かそう」という学習課題で、プログラミング学習に取り組みました。

数学科の学習では、「どんな数になるのか考えよう」という学習課題で、トランプカードを使ったゲームを通して正の数・負の数について学習しました。

家庭科の学習では、「遊びで育つ力について考えよう」という学習課題で、「折り紙遊び」を通して育つ能力や可能性についてみんなで意見を出し合っていました。

特別支援学級では、美術科でウッドクラフト制作、体育科で体づくりの運動に取り組み、小学生と中学生が一緒に活動しました。中学生がお手本を示してくれる等、先輩と後輩の交流も図られました。

今回の中学校登校は、初めて学ぶ教科があったり、興味・関心を高める先生の専門的な指導が行われたりしたことで、子どもたちの学ぶ意欲が喚起され、目を輝かせながら授業に臨む姿がたくさん見られました。



特別支援学級の合同授業



家庭科の授業(対雁小)



英語科の授業(中央小)



国語科の授業(中央小)



体育科の授業(対雁小)



体育科の授業(中央小)



技術科の授業(対雁小)



数学科の授業(対雁小)